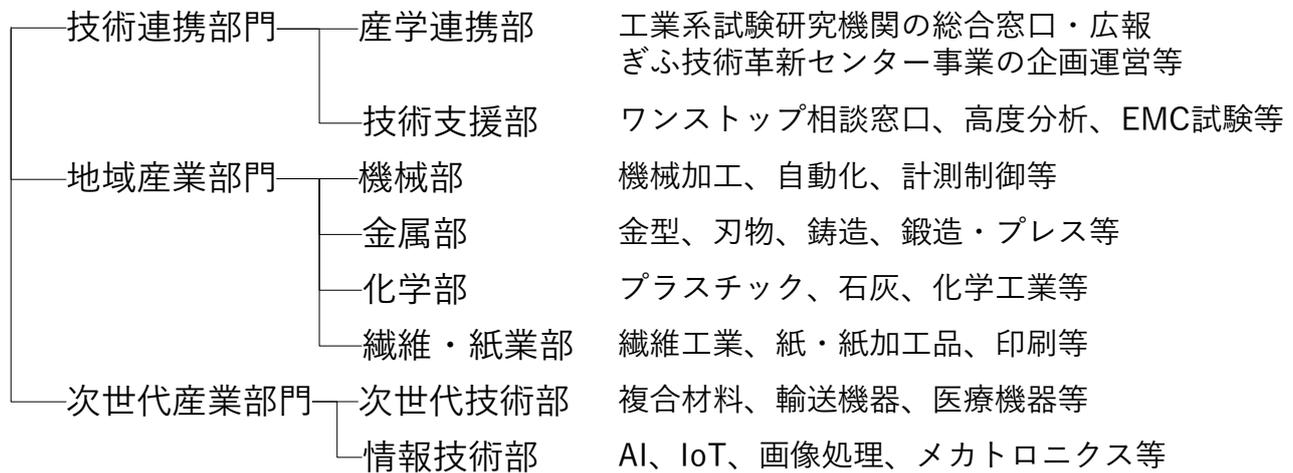




令和2年度の研究テーマ紹介

令和2年度に実施する研究テーマについて紹介します。昨年度の3つの研究機関の統合により、3部門・8部体制となり、以下のように33件の多種多様な研究に取り組んでいます。技術的課題の解決につながるなど、ご興味のあるテーマがありましたら、是非お問い合わせください。



分野	課題名	年度	担当部
評価技術	クレーム対応のための分析試験の高度化	R1-R5	技術支援部
評価技術	EMC試験設備を活用した電子機器の高品質化	R1-R5	技術支援部
機械	プレス金型の故障診断手法の確立	H29-R3	機械部
機械	軽量部材加工技術に関する研究	H30-R2	機械部
機械	鉛レス金属材料の加工技術に関する研究	R2-R4	機械部
金属	生産性を高めるアルミ合金ダイカスト用金型の開発【アルミダイカスト部品の高品質・低コストを実現する製造技術の研究】	H28-R2	金属部
金属	鋳物の高品質化、品質管理技術に関する研究	H30-R2	金属部
金属	微細構造形成による金属へのレーザー加飾システムの開発	R1-R2	金属部
金属	金属材料への表面処理技術に関する研究	R1-R3	技術支援部
金属	表面処理／表面加工による金属製品の高品質化	R2-R4	金属部
金属	刃物製品のブランド力向上のための切れ味評価技術の開発	R2-R6	金属部
化学・プラ	プラスチック材料の品質向上技術の開発	H30-R2	化学部
化学・プラ	石灰水洗ケーキの用途開発に関する研究	H30-R2	化学部

令和2年度の研究テーマ紹介

分野	課題名	年度	担当部
化学・プラ	ゾルゲルコーティングによる金型部材への硬質膜形成	R1-R2	化学部
化学・プラ	リサイクル樹脂成形技術に関する研究	R1-R3	化学部
繊維・紙	美濃和紙原料の高品質化のための栽培・管理技術の開発	H27-R3	繊維・紙業部
繊維・紙	紙の高機能化と品質評価に関する研究	H30-R2	繊維・紙業部
繊維・紙	GIFUブランド繊維製品の開発	R1-R4	繊維・紙業部
繊維・紙	高保温性不織布の開発	R2-R4	繊維・紙業部
複合材料	異種材料の接合技術の開発【次世代自動車・航空機部品の製造に必要な異種材料接合技術の開発】	H28-R2	次世代技術部 機械部
複合材料	熱可塑性FRPの疲労評価・推定・診断に関する研究	H30-R2	次世代技術部
複合材料	FRPサンドイッチ材の成形技術に関する研究	H30-R2	次世代技術部
複合材料	軽量材料／情報技術を活用した福祉機器の開発	R1-R3	次世代技術部
複合材料	セルロースナノファイバーを用いたマルチマテリアル化	R1-R5	次世代技術部
情報技術	IoT技術を活用した予防保全に関する研究開発	H29-R3	情報技術部
情報技術	クラウド技術を活用したリモート監視に関する研究開発	H29-R3	情報技術部
情報技術	画像撮影システムを用いたひび割れ計測支援エディタの開発	H30-R2	情報技術部
情報技術	スマート金型の応用展開に関する研究	R1-R2	技術支援部
情報技術	目視検査員のための目のセルフケア支援技術の研究開発	R1-R3	情報技術部
情報技術	温湿度センシングに関する技術開発	R1-R3	情報技術部
情報技術	品質見える化のための画像センシング技術に関する研究開発	R1-R5	情報技術部
情報技術	革新的生産技術による生産性の向上	R1-R5	情報技術部
情報技術	AI技術を活用した検査工程の省力化・効率化	R1-R5	情報技術部

◇ 令和元年度は、38件の共同研究を行いました ◇

◎共同研究

当センターと企業や大学等の研究者が共同で研究を行う制度です。それぞれが保有する設備や人材、資金を有効に活用することで、研究効率を高めることが期待できます。

◎受託研究（昨年度実績：3件）

企業からの委託を受けて、当センターの研究員が研究を行う制度です。研究費用は委託者にご負担いただきます。

◎緊急課題技術支援（昨年度実績：22件）

企業が抱える緊急性の高い技術的課題の解決のため、当センターの研究員が集中的に支援します。内容に応じて特殊な試験にも対応します。

ワンストップ相談窓口 専用電話 ☎ 0575-29-7151
技術職員が直接、各種の技術相談に対応!!